



日野市 × 株式会社ジモティー 実証実験 粗大ごみになる前にリユースでごみを削減！

ID 1019902 岡ごみゼロ推進課(☎042-581-0444)



市で収集した粗大ごみやクリーンセンターに持ち込まれる粗大ごみは、年間約1,500t。その中には、まだ利用可能な品物も含まれています。そのため、さらなるごみ減量に向けて、リユースの取り組みを進めています。

民間企業のノウハウを活用したリユース事業の方策を検討するとともに、ごみの減量および収集経費の削減などの財政効果の検証をするため、(株)ジモティーと連携して実証実験を行います。

■ジモティーとは

(株)ジモティーは、ジモティーというウェブサイトの企画・開発・運営を行っています。このジモティーは、地元のイベント、メンバー募集、不用品の取り引きなどの情報を誰でも掲載できるウェブサイトです。※アプリ版もあります

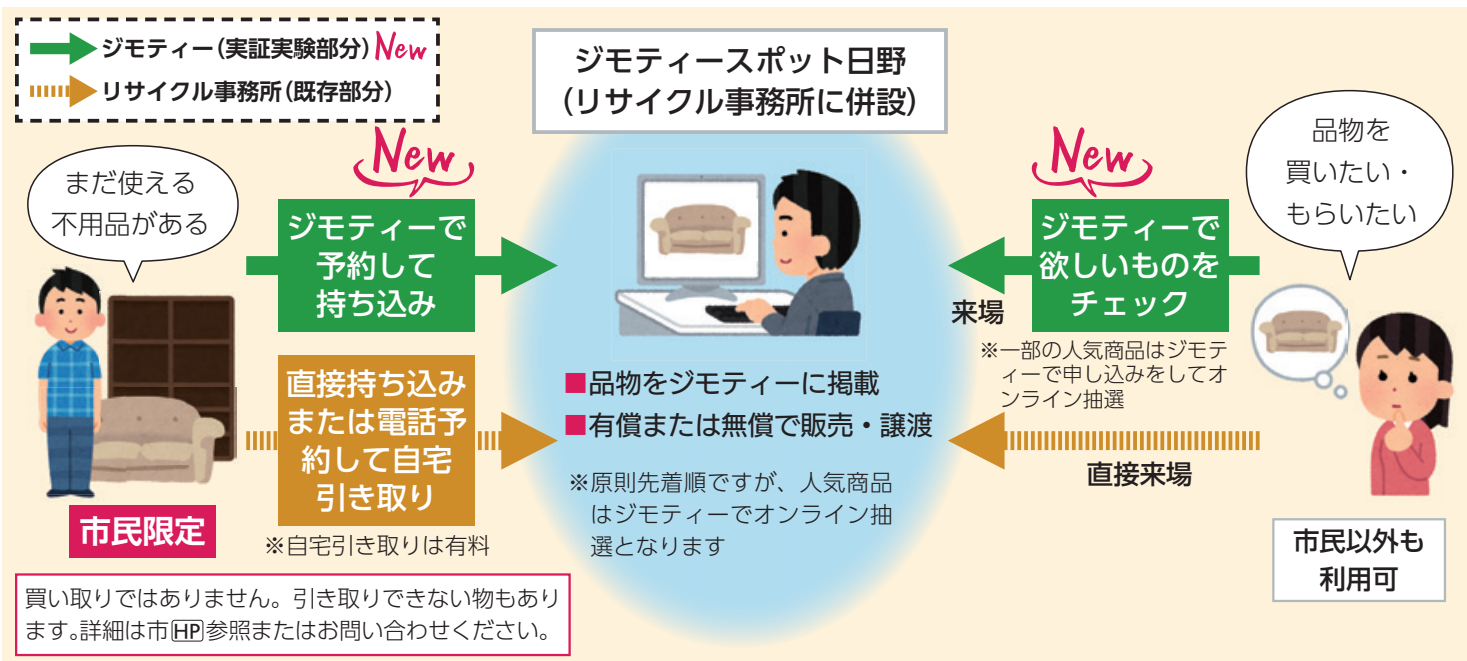
■実施場所 ※営業時間は変更の可能性あり

ジモティースポット日野 万願寺6-5-6リサイクル事務所内

ジモティーの実証実験に関すること…(☎070-2192-8255※午前10時～午後4時30分(木曜日を除く))

リサイクル事務所の通常利用に関すること…(☎042-581-5960※午前10時～午後4時30分(木曜日を除く))

■ご利用の流れ



ペットボトルは お店の回収ボックスへ

ID 1002934 岡ごみゼロ推進課(☎042-581-0444)

夏はペットボトルの消費量が増えるため、ペットボトルの行政回収量も増加する傾向にあります。

ペットボトルを買ったお店の回収ボックスへお返しする「容器包装お返し大作戦！」に、より一層のご協力をお願いします。

なお、お店に返す時には容器の中をすすぐなど、必ず各店舗のルールを守りましょう。



たばこの適切な排出に ご協力を

ID 1019383 岡ごみゼロ推進課(☎042-581-0444)

たばこの吸い殻の正しい排出方法は「火を消した後に、水に濡らしてから可燃ごみ」です。水に濡らさずに排出すると火災の原因にもなるため、絶対におやめください。

収集運搬、手選別処理をする方やごみ処理施設の安心・安全のため、ご協力をお願いします。



▲たばこは水に濡らしてから可燃ごみへ

点字版・朗読版広報のご活用を

ID 1001093 市長公室広報係(☎042-514-8092 FAX 042-581-2516)

視覚障害者に市の情報をお伝えするため、「広報ひの」の点字版と朗読版を作成しています。ご利用を希望の方は、お問い合わせください。

点字版広報

「広報ひの」から市政のお知らせなど記事を抜粋した点字広報(速報版・特集版)を配布しています。社会福祉法人東京光の家の皆さまのご協力のもと、発行しています。



▲点字版広報誌

朗読版広報

「広報ひの」の市政のお知らせを音読し、収録した朗読版の広報(デージーCD版)を貸与しています。ご利用いただくには専用の再生機器が必要です。

※デージー…Digital Accssesible Information System(アクセシブルな情報システム)の略。視覚障害者など印刷物を読むのが困難な方のために作られたデジタル録音図書の国際標準規格。目次から聞きたい記事を選ぶことができます



▲デージー CD版と再生機器

朗読サークル「ひの」創立35周年！



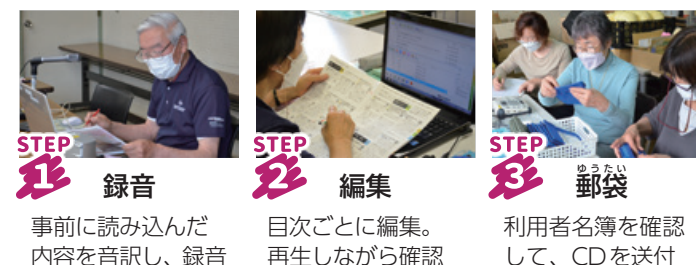
ボランティア団体朗読サークル「ひの」の皆さまのご協力のもと、「広報ひの」を音読・編集した朗読版広報を視覚障害者へお届けしています。その朗読サークル「ひの」が昭和62年に活動を始めて35周年を迎えました。広報誌をはじめ、新聞・情報誌などの記事を抜粋したCD「山なみ」の制作、大型紙芝居「日野の昔話」の読み聞かせなど多岐にわたって活動しています。そのような社会福祉の一翼を担う活動が評価され、平成27年には日野市ユニバーサルデザイン推進功労者として表彰。翌年には東京都社会福祉大会知事感謝状を受賞しました。

視覚障害者の「目の代わり」となり、今後も障害のある方に寄り添った活動を期待しています。



35年間つないできたバトンがこれからも続きますように！

朗読版広報が出来上がるまで



「第5次日野市行財政改革大綱実施計画実績報告」を公表

ID 1019868 企画経営課(☎042-514-8069)

平成29年度～令和2年度の4年間で進めた第5次行財政改革(以下、行革)の実績を報告します。詳細は市HPまたは市内図書館でご覧いただけます。

財政指標には、経常収支比率(財政の逼迫度)、市債などの残高(借金額)、財政調整基金の残高(緊急時の備え)、人件費構成比率(人件費の割合)を設定しました。達成状況は右表の通りです。

令和5年度以降に取り組む行革では、財政再建方針と合わせ、より一層の取り組みに努めていきます。

■第5次行革の財政的効果	
合計	3,762,978千円(平成29年度～令和2年度)
■財政指標の令和2年度達成状況(目標)	
×経常収支比率	100.1%(91.0%以下)
○市債などの残高	646億円(690億円以下)
×財政調整基金の残高	36億円(45～50億円)
○人件費構成比率	12.6%(15%台)

